



2016年1月18日

(公財)長野県長寿社会開発センター 佐久地区賛助会
電話 0267-63-3141 (佐久合同庁舎)

新春を迎えて年頭のあいさつ

佐久地区賛助会会長 川村 英紀

賛助会員の皆様 あけましておめでとうございます。

昨年は「理事会研修会」「シニア大生との親睦マレット大会」等、新たなことにも挑戦してまいりましたが、不消化部分も多く、今年改めて策を練り直してリベンジしていこうと考えております。

賛助会を賑やかに元気を吹き込んでいくためにもシニア大学生との絆を深めることは絶対に必要であります。賛助会のカリキュラムにも是非ともシニア大同窓会的要素のある賛助会をアピールしていきたいものと考えております。

昨年暮れ12月25日に長野市で「地区賛助会連絡協議会」に県内十地区賛助会の支部長、会長、副会長3名ずつが集まり意見交換会を行いました。どの地区も悩みは同じで

「高齢化」「会員数減少」でありました。表面元気を装っても数字的裏付けが伴っていません。賛助会の入会口はシニア大学しかありません。このあたりを改めて考え直して対処してまいりましょう。

長野県や長寿社会開発センターは「しあわせ信州創造プラン」「ACEプロジェクト」に則り変化してきております。シニア大学のカリキュラムもそれに沿って進化しております。一人私ども賛助会だけが取り残されないように・・・・・・長寿健康県をめざして頑張ってください。

佐久地区賛助会の更なる発展、充実を図り皆様方の健康づくり、更なる積極的な社会参加活動を推進していきましょう。



賛助会佐久支部 理事会研修会

霧ヶ峰東山高原「ヴィーナスの丘」

2015. 7. 24



平成27年度

佐久地区賛助会員活動発表会開催

～明るく豊かな長寿社会の実現に向けて、一人一人が主役の賛助会～

『70歳、80歳は育ち盛り、90歳で実となり、100歳で種となる』

“人生百歳時代をめざして”の演技と作品”

第26回佐久地区賛助会員活動発表会が11月27日(金)開催されました。



人生百歳時代をめざして“明るく豊かな長寿社会の実現”にむけて、佐久地区賛助会員30グループ、約500名が、仲間づくりと長年培った知識、技術、経験を活かしたそれぞれの活動を通して、会員相互の交流を図るとともに、様々な社会参加を行っています活動成果の発表会です。

開会式では、黒岩 芳広佐久支部長、川村 英紀賛助会長の主催者挨拶に続き長野県議会議員 依田 明善様、長野県長寿社会開発センター本部 常務理事堀内 良人様から祝辞を頂戴しました。

来賓の自己紹介後、2015信州ねんりんピック長野県高齢者作品展で入賞された方々に対する表彰が佐久保健福祉事務所長 小林 良清様より行われました。

【彫刻部門】

◆長野県共同募金会会長賞 伊藤 久夫 様

【洋画部門】

◆奨励賞 倉沢 修 様

◆奨励賞 田中 武司 様、

また、長年にわたって、生きがいと健康づくり活動、社会参加活動に貢献された方やグループの表彰が『2015信州ねんりんピック』の式典で行われました。その報告が合わせて行われました。

表彰者は以下の方々です。

◆県社会福祉表彰(知事賞)

清原基生様(いきいきシニア 2000 の会)

◆長野県長寿社会開発センター個人表彰

武田 衛 様(古文書学習同好会)

臼田宇多子 様(短歌を楽しむ会)

中島袈裟幸 様(舞幼の会)

塩川 忠彦 様(ニコニコ会)

◆長野県長寿社会開発センター団体表彰

楽舞の会(代表:佐藤 瑛子 様)



“熱意と練達の思いを輝かそう” (第26回佐久地区賛助会員活動発表会)

平成27年11月27日(金)長野県佐久合同庁舎5階講堂、当日は好天に恵まれ名峰連山がくっきりと眺められる穏やかな雰囲気の中、参加者273名にお越しいただきました。誠にありがとうございました。



佐久地区賛助会には、仲間づくり健康づくり生きがいづくりを進めながら、それを元に様々な社会活動を行なっているグループが30あります。今回の活動発表会は、そのグループの枠を越えて会員相互の交流を図るとともに互いの活動を共有し、新たな会員募集を通じて更なる賛助会の発展を期して賛助会員の活動成果を発表する企画を立案し実行しました。

開会式には多くの来賓の皆様をお迎えし、黒岩 芳広支部長、川村 英紀会長の挨拶をいただきました。高齢者作品展入賞者、長年の功労者の受賞報告等、誠にありがとうございました。さらなるご活躍を祈念申し上げます。



今年は発表会の体制もかわり会員の一生懸命さが伝わって全体を通して本当に良かったです。中でもステージ上を飾った横断幕は墨友会のグループ長をはじめとした会員の皆さんの努力が形に現され立派だったと思います。

司会進行も会員の中から選出され、その前向きな熱心さが伝わり好感を呼びました。作品ブースも増え素晴らしい力作が並びゆったりと見学できました。皆さん頑張っているなど感心しきりでした。パネルに所狭しと作品や活動の様子を映し出した写真を通し掲示された絵手紙、写経、陶芸の数々見学者に分かりやすかったと思いました。



ステージ発表では舞踊は人気の日本古来の伝統文化です。踊りの度に拍手が聞こえ華やかでした。コカリナ 木霊が奏でる調べが響きわたり心が洗われる思いでした。特別参加のシニア大学2年生詩吟班と幸吟会との合吟は総勢30名のステージ発表となり迫力満点で会場を魅了しました。

各グループの活動発表を見学して今後の活動の在り方や活動発表会のあり方など、いろ

いろと課題がありますが皆様の御協力を仰ぎながら課題に取り組み楽しい、元気な、輝く賛助会員活動発表会になればと祈念してまいります。

最後に、事務局の皆様にはいつもながら強い御支援と御協力を賜りました事、心から感謝申し上げます。

活動発表委員長 町田 俊一



今回の活動発表会には、ステージ発表16グループ、パネル発表8グループ、作品展示発表が5グループで、いつもながらシニアの力が結集された楽しい、熱意と創意工夫を育む発表会となりました。

ステージ発表では『若葉会』の軽やかな舞踊『花笠ばやし』から始まり、式典後の緊張気味な雰囲気を一気に和らいでくれました。また、楽舞の会の『千曲川』、フラ・プリムラの『花は咲く』、舞笑の会の『北国の春』、舞幼の会の『孫』など大半が知っている曲の踊が始まると会場も一体となってハミングがしたり、手拍子が聞こえたり、一気になごやかな雰囲気になりました時は、一人一人が主役だなあ・・・と実感させられました。

また、コカリナ木霊の吹奏が始まると、透明感のある音色の響きが、会場いっぱいになり、日頃の疲れやよどんな空気が一掃される様な思いになりましたのは、筆者だけだったか……。

恒例となりましたシニア大学佐久学部2学年創作実技詩吟班の特別出演する『幸吟会』との合吟は、何時もながら迫力満点で、会場いっぱいにシニアの底力が漲る思いがします。

午後は健康ライフ(ヨガ体操)から始まり、会場を巻き込んだ簡単なヨガ体操の実演と要領を得たアドバイスは、改めて健康維持の大切さを思い知らされました。

午後は舞踊が多く演じられましたが、新旧どのグループもテンポの良い馴染みの曲が演じられると、会場から盛んな手拍子が起こり、出演者も笑顔が出たり一体感の雰囲気十分と言った感がありました。出演者の人達も、緊張の中にも充実感や満足感の姿が印象的でした。どのグループの出演者も厳しい練習をされてこられた自信と達成感が演技から伝わってきました。

そして、今年初めての試みでありました非賛助会員であるコーラス『虹の会』の特別出演は知り合いのメンバーも多く在籍していて、筆者としては、賛助会の在り方、発表会の在り方など今後の課題を考える『宿題』を与えられたような気持ちにさせられたひと時でした。

一方パネル作品展示部門では、今年度もシニアパソコンクラブは502号会議室でパソコンの相談に応じるコーナーを設け、パソコンの実技など多くの人びとに対応する取り組みが見られました。部屋いっぱいに飾られたパソコン処理の<菊>、<ラン>、<薔薇>、<ユリ>4グループの写真は皆さんが楽しんで制

作された思いが伝わってきました。『おもしろクラブ』の陶磁器作品、『墨友会』のいろんな書体の作品、『写経の会』の力作、年々素晴らしくなっていると見入っていらっしゃる方々。『ニコニコ会』の心和む絵手紙の作品。いつも解説者がほしいね！と見学者の声がする『古文書学習同好会』の古文書展示。すっきりと写真で活動をまとめた『実践クラブ23』、『郷土史を学ぶ会』、『健生クラブ』、『木づちの会』、それに聴覚障がい者との交流が生き生きとまとめられていた『華中の集い』、また、『手芸同好会』の心を縫い合わせた素晴らしい手芸作品の数々、今年初めての出品『種の会』の工芸作品の数々の力作など、発表者も参観者も満足されていたのではと思います。

フィナーレの全員唱『高原列車は行く』地元小海線沿線の風景を歌った作品で、ひときわ大きく会場に響き渡り楽しい1日となりました。この感動と充実感をいつまでも伝えていきたいものだと感じました。

(広報担当)

《賛助会のグループ紹介》

◆ 郷土史を学ぶ会 (グループ長 染谷 純子)



ぜひ、一緒に郷土の文化、歴史を勉強しませんか？

本グループは発足して25年をむかえました。

これも郷土の豊富な文化財と歴史の深さの賜物ではないかと考えます。

「衣・食・住の身近な文化、歴史」と「世界に誇る郷土の遺産」を学ぶグループです。

もう一度知りたいこと、見たいところを掘り起こしては「百聞は一見にしかず」現地に行って学習しています。

27年は「花燃ゆ」でお馴染みの下田方面、善光寺絵解き文化史、大鹿村の歌舞伎の歴史、地質学の現地研修、そして2回の講演会、勉強会と年間を通して活動しています。

◆ 活動推進委員会 (グループ長 水島 清夫)

～ 賛助会の活動後方支援を基本に ～

私たちは、皆さんのグループと趣きを異にしています。



① 人生の中で培った経験や知識及び技能を活かして社会に貢献すること。

② 積極的な社会活動により生きがいと健康づくりを推進すること。

③ 人生80年時代にふさわしい考え方や社会システムづくりを推進すること。

以上のような目的により「支部事務局」と連携し情報誌「りらく」と会報「あさま」および関係資料の発送作業や賛助会活動への支援、総会、賛助会員活動発表会の推進、本部・支部の賛助会に対する事業を積極的に協力・参加するグループです。

目立ちませんが、縁の下の力持ち的な活動を続けています。そんな活動に関心を持たれる方々の入会をお待ちしております。ぜひ、御気軽にお問い合わせください。

◆ 墨友会 (グループ長 大井 鏡二)

当会は20数年にわたり続いている会で途中会員の増減はありましたが現在18名の会員が楽しみながら筆を動かしております。

学習会の日程は毎月第一金曜日午前9時から12時まで佐久合同庁舎の会議室をお借りして実施しています。指導者は、比田井天来記念館長の小林 嶺風先生です。先生からは、それぞれの技量に応じ添削指導をしていただき次回のお手本を書いてもらい翌月の会に備えています。



な雰囲気集いやすい会として継続させていきたいと思っておりますので、多くの皆様のご入会をお待ちしております。

皆でつくった会則に基づき自由闊達に各自の技量に沿い早い遅いは別に上達を目指しています。

なかなか社会貢献は難しいですが27年度は佐久地区賛助会員活動発表会の横看板と玄関脇の立て看板を、同様にシニア大学祭の看板2枚を会員手分けで書かせていただくことができました。

また、2015 信州ねりんピックの高齢者作品展に8名の会員が軸装を出品し、賛助会員活動発表会には、一年間の成果として13名が軸装を出品しました。

人生二毛作、今後も会員一同暖か

♪ ♪ 平成 28 年度 佐久地区賛助会総会・研修会のお知らせ ♪ ♪

- ◆日 時 平成 28 年 5 月 26 日(木)午後 1 時 30 分から
- ◆会 場 長野県佐久合同庁舎 5 階 講堂
- ◆議 事 平成 27 年度 佐久地区賛助会事業報告
平成 27 年度 佐久地区賛助会決算報告・監査報告
平成 28 年度 佐久地区賛助会事業計画(案)
平成 28 年度 佐久地区賛助会予算(案)
平成 28 年度 佐久地区賛助会役員改選
- ◆研修会 午後 3 時から
講 師 甘利 庸子 氏(のぞみグループ代表)
※多くの賛助会員の参加を心からお待ちしております。



平成 28 年度長野県シニア大学佐久学部学生募集のお知らせ

- 1 入学資格 おおむね60歳以上の県内在住者で、学習意欲が旺盛であり、地域活動を行おうとする方。なお、平成 24 年度以前に長野県シニア(老人)大学を卒業された方も再入学できます。
- 2 募集人員 140 名
- 3 学習期間 2年間
- 4 学習時間 年間 68 時間(17 日×4 時間)、月 1～2 回(火曜日)
- 5 学習内容 地域活動を行うための幅広い分野の学習ができるよう多彩な講座を設けています。
実践講座 (社会参加(貢献)への足掛かりとする講座)
教養講座 (様々な教養を身につける講座)
実技講座 (趣味(選択講座)と健康づくり(スポーツ)を行う講座)
- 6 授業料等 年間 10,000 円(予定) 他に教材費や自治会費等の費用が必要です。
- 7 募集期間 平成 28 年 2 月 1 日(月)～2 月 29 日(月)(当日消印有効)
- 8 問合せ先 長野県シニア大学佐久学部 事務局(担当:橋本)
(佐久保健福祉事務所 福祉課内)



〒385-8533 佐久市跡部 65-1 電話 0267-63-3141 FAX0267-63-3110

賛助会員の皆様のご家族、友人、知人、近所の方々にも声掛けをお願いします。